

第五言語不通ノ為官負ニ非サル通辨人雇料

及ヒ費用

第六困難人開港地へ發足ノ節荷物運送

及途中諸費用

第七困難人溺死シタル時其搜索入費

第八同前ノ者死傷スル時治療埋葬入費

開拓使

別紙外務省上申カル港駐在領事送
迎及ヒ談脈小樽港へ寄泊儀朱書ノ
通及指令候條此旨相達候事

明治十年八月四日

太政大臣三條實美



在カルサ港領事迎船小樽港へ寄船之義
ニ付上申

樺太島へ渡航スル船舶ハ必ス内地開港場へ出
船シ歸着スルモ同様可心得左明治九年十
二月一日付第百四十九号ヲ以公布相成居ル
カルサ港駐在領事ハ往巡定期モ自之其都
度殊ニ一船ヲ派シ送迎スル様ニテハ甚不便
之然ルニ開拓使可屬船之義ハ時々小樽港へ
航行之趣ニ付自ニ同船ヲ送迎スル様ニテハ
便ニ可省之就テハカルサ港派船出之領事
組以開拓使所船ニ限リ小樽港へ寄泊スル
由致成也

十年七月六日

外務卿寺島宗則

右大臣岩倉具視殿

上中ノ趣特別リ以テ閣下候事

明治十年八月四日

開拓使

其使准陸軍武官中少尉試補ヲ置キ
官等月俸左之通被定候條此旨相
達候事

明治十年八月七日

太政大臣三條實



准陸軍少尉試補 十等 准陸軍少尉月俸三十二